

みやこへいへんせ、

いっすんぼうしは

えらい だいじんに

きにいられ、

けらいにじて

もらいました。

あるひ

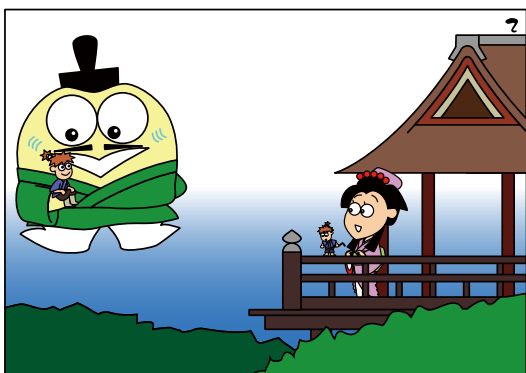
いっすんぼうしは

だいじんの むすめである

おひめさまの おともで

きよみずでいへんせ

おまいりに いきました。



するぞ ぞくく

おそろしい おにが

あらわれました。

おにの くちには、

たくさんの

たべかすが

ぎっしり

つまっていて

きもちわるそう

です。



「..こつろ」

4

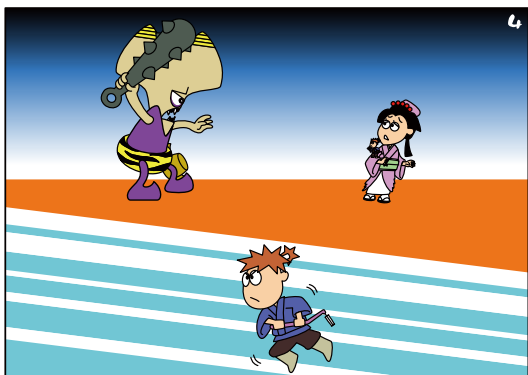
おには、

おひめさまを

つれさろうと

おそいかかって

きました。



3

いっすんぼうしは、
おにのくちのなかへ
とびこみました。

そして

かたなのかわりに

もっていた

しかんフラジで

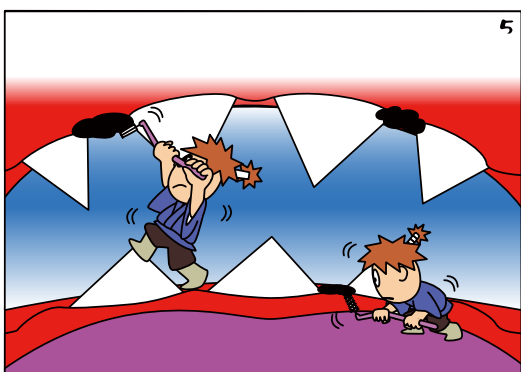
おにの

はと への すきまの

よごれを

どんどん

きれいに していきます。



おくちの よごれが

きれいに なって

スッキリした おには

すっかり

ごきげんになり

かえって

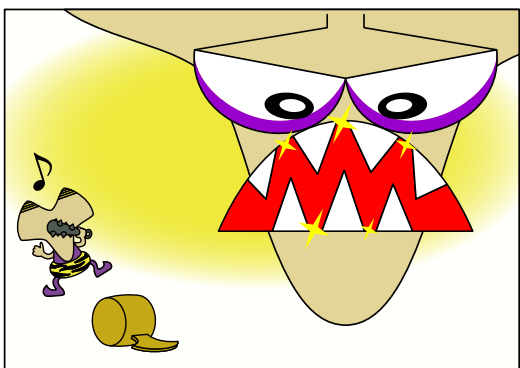
しまいました。

おには なんと

たいせつな

うちでのこづちを

わすれて いきました。



うちでのこづちは、
うてばねがいがかなうと
いうふしぎなこづち。

おひめさまが

「いっすんぼうしよ、

おおきくなれ、おおきくなれ」

と、こづちをうつせ

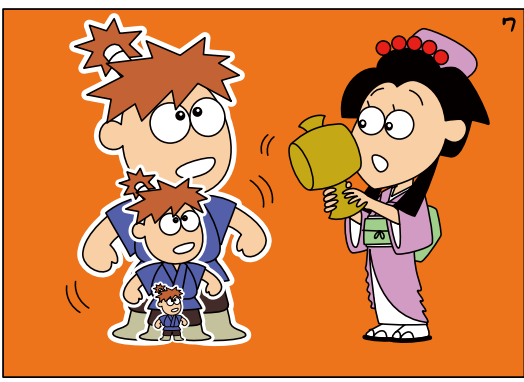
いっすんぼうしの

からだはどんどんおおきくなり、

やがて

りっぱなわかもの

になりました。



みごせ

おひめさまをすくった

いっすんぼうしは

りっぱなぶしやうじ

みとめられて

おひめさまとけっこんし

しあわせにくらしました。

かたなのかわりにしていた

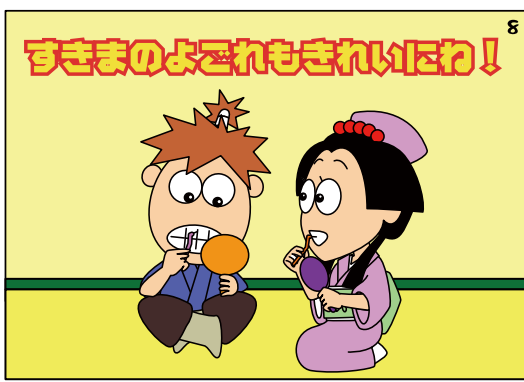
しかんフラジも

いまでは

じぶんのはのすきまの

おそうじに

かつやくしています。



むかしむかし…
いっすんぼうし
こゆびほどの おおきさの
ちいさな こどもが
おじいさんと
おばあさんに
そだてられていました。

あるとき
いっすんぼうしは
ぶしに なるために
みやこへ いくことを
おじいさんと
おばあさんに
ゆるして
もらいました。

おわんの おふねに
おはしの カイで
かわを くだり
みやこに むかいました。

